

令和2年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立東山東小学校

作成日

令和 3年 3月 12日

1 教育目標

生きる力をはぐくみ、心身ともに健やかで、明日の社会を築く豊かな創造性と実践力を持つ子どもの育成。

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域に開かれた学校
指標	・県学習到達度調査で県平均を上回る ・わかる授業、児童が主体的に取り組む(児童80%)	・学校が楽しい(児童90%) ・いじめ解消率100%	・新体力テストで全国平均を上回る ・早寝早起き朝ごはん90%	・地域とかかわった実践を全学級で実践 ・学校の様子がよく伝わった(保護者80%)
意見 重点目標に対する	○基礎学力の定着があつて、さらに主体的に判断し、問題解決していく力が必要になってくる。両方大切。	○体験的な活動は豊かな心の育成に役立つと考えられる。互いに認め合う仲間づくりにもつながる。本年はコロナの影響もあり活動しにくい面もあったと思うが、より大切といえる。	○基本的な生活習慣の確立は大変重要なことである。コロナ対策についても含まれる。 ○しっかり体力をつけていってほしい。	○地域の方々を招いての取り組みや交流は評価できるものであり、今後も大切にしていってほしい。 ○本年度はより情報発信は大切といえる。
意見 取組状況に対する	○難問クイズ等考える楽しさを味合わせる場を設けることはいいことである。 ○和歌山大学教職大学院との共同研究等、工夫しながら取り組んでいる。	○コロナ禍の中、人権意識の啓発はより大切である。 ○3密等の対策はもちろん大切ではあるが、コロナの影響による様々な児童のストレスについての配慮も大切。そのことを忘れずに取り組めたことは良い。	○基礎運動力の向上を図ることは大切。 ○コロナ対策は本年度の健康面での最も大きな課題。 ○歯の健康の増進に力を入れてくれている。	○例年のようにはいかなかったものの、本校は地域との連携事業がうまくいっている。 ○コロナ禍が収束すれば、さらに内容の濃いものに推進していきたい。
意見 取組の適切さの検証結果に対する	○「うちどく」の表彰などに影響を受けて、それを目標にしながら読書に親しむ児童がさらに増えたことはいきいことである。 ○説明力がついてきたことはいきいことである。 ○基礎学力の向上にさらに努めてほしい。	○学校が楽しいとする児童が99%を超えているのはうれしいこと。100%目指して。 ○コロナ禍の中、例年と比べると、挨拶等少し元気がなかったような気もし、やはり影響があつたのかもしれない。(マスクの影響で小さく聞こえたのかもしれないが。)	○コロナ禍の中、健康・安全のために工夫してとりくめていた。インフルエンザがだれも出なかったのはその副産物ではないか。 ○全国的な歯科保健優良校に選ばれ良かった。	○今後もこの活動を進め、子ども達に様々な体験をさせて欲しい。 ○昨年度までの取り組みができない場面も多く、残念であつたが、今年やれることを精いっぱいやれたのではないか。
意見 改善方法に向けての意見	○「うちどく」について上記のことをうれしく思うし、今後も期待するが、高学年への取り組み方の工夫が必要。 ○説明力がついてきたことを受け、さらに主体的な学びがより深まるよう推進していってほしい。	○今後も、コロナ禍の終息するまで、より意識して子ども達の心身の健全育成のために来年度も様々な活動や取り組みを積極的に行ってもらいたい。	○フッ化物洗口は続けていくとよいと思われる。 ○基礎の運動はいろんな運動につながるので、大切。今後も積極的に取り組んでももらいたい。 ○コロナ対策はまだ今後しばらくは必要。	○コロナ禍が終息するまでは制限もいろいろあるであろうが、できることの中で、地域との連携を深めていってほしい。 ○山東まちづくり会の運営する施設が隣にできるので、より一層協力体制を推進していきたい。

3 その他のご意見

○今後も学校設備や通学路等についてさらに環境整備に努めていただきたい。